
今日の方

2025年3月31日 ～ 4月6日

翻訳 ハンコック 真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

3月31日(月)

地の柱を堅く立てるお方

聖書朗読 詩篇 75篇

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

ヤコブ1:17

結婚して35年になります。妻はずっと同じメーカーの洗剤を使い続けています。彼女にはその洗剤を変える気もないし、他のメーカーのものを使うつもりもありません。例えば、彼女が好きなメーカーのものが25ドルだとしましょう。同じサイズで5ドルであっても他のメーカーのものは買いません。この世の最高の科学者が5ドルの洗剤も同じ材料で作られていると説明したとしても、彼女は25ドルでいつもの洗剤を買うでしょう。妻は変化を好みません。ということは、私のこともそばに置いてくれることでしょう。

私の妻の場合は極端かもしれませんが、一般的に人は変化をあまり好みません。多くのものが変化し混乱する世の中ですが、変化しない方がおられます。そのことで私たちの心は安らぎ慰められます。詩篇の著者を通して神様は、『地とこれに住むすべての者が揺らぐとき、わたしは地の柱を堅く立てる。』と言われました。何が正しく、何が誤りであるかは変わっていません。種を蒔く時期と収穫の時期は昔から変わっていません。お産の周期は、人間の誕生から死の周期は昔と同じです。人生の柱は安心安全です。それは変わることはありません。神様が変わらない方であられるからです。

讃美歌 39 日くれて四方はくらく

祈り 父よ、この世が変わってしまっていることに恐怖を覚えます。不確かな中でもあなたに信頼することができますように。私たちの人生の柱を強くしてください、不変の価値のあるあなたに頼ります。イエス様のお名前です。
アーメン。

アーカンソー州 サーシー / ドウエイン・ワーデン

4月1日（火）

やしな
養 い の 水

聖書朗読 詩篇 92篇

彼らは、主の家に植えられ、私たちの神の大庭で栄えます。 詩篇 92：13

去年の夏、私は母の庭に花を植える手伝いをしました。最初、簡単な仕事だろうと高を括っていました。しかし、正しい庭の手入れのやり方は手間も時間もかかるのだをいうことを母に教わりました。地面を掘り起こし、新しい土を運び入れ、正しい深さや間隔の穴を掘らなければなりません。日照時間、水やり、肥料に配慮することなど、庭仕事の大変さを学びました。

詩篇92篇は庭師としての神様と、植物としての人間を描いています。主の家の健康な植物として、詩篇の著者は神様の驚くべきみわざを崇めています。しかしながら、主の偉大なみわざを理解できない、永遠に滅ぼされる運命にある悪者は萎れます。

愚かで不法を行う者どもは散らされ、正しい者は繁栄します。正しい者は、自らの行いによってではなく、主に養われて大きくなっていくのです。そして、主に養われることによって実を結びます。主による養いは中断されることはなく、人生の全てを満たしてくださるのに十分なのです。私の母の庭に植えられた植物のように、私は神様によって養われ水を与えられたいと思っています。

讃美歌 56 七日の旅路

祈 り 完全であって義なる主よ。あなたの偉大なみわざと、あなたによる養いをほめたたえます。いつもあなたに留まるようにさせてください。王なるイエス様のお名前でお祈りいたします。アーメン。

ペンシルベニア州 ピッツバーグ / ケイレブ・デリンジャー



4月2日（水）

祈 り は 力 強 い 武 器 で あ る

聖書朗読 詩篇 107:28～30

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。 ピリピ 4：6

神様の御子のお名前を通した祈りは、すべての神様の子どもたちに賜った力強い贈り物です。日々神様の御言葉に時間を費やすことで、神様のご性質が私たちの心に刷り込まれ、神様が望むことが私たちの望むことになるというのは事実です。私たちの祈りを神様のみこころに合わせていくことによって、『主をおのれの喜びと』することができます。（詩篇 37：4）

私たちは聖書の中の聖句を使って祈ることもできます。『愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。』（ヨハネⅢ 2）

詩篇のダビデの祈りのように、聖書の中の神様を信じる人の実証された祈りをすることもできます。

『私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。』（エペソ 1：3）このように神様の約束を宣言する祈りをすることもできます。

御言葉からまたは祈りによって神様の意志を理解しようと努める時、私たちの信仰が王なる神様にしっかりと繋がっていますように。私たちは神様の憐れみによって神様の子どもとされ、『私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。』（エペソ 2：10）

讃美歌 310 しずけいのりの

祈 り 親愛なる主よ。私たちの祈りに耳を傾け応えてくださいます。ありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

フロリダ州 ジャクソンビル / プルーデンスC・ウィリアムズ

4月3日（木）

真 実 を 中 心 に 置 く

聖書朗読 詩篇 120篇

むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において成長し、かしらなるキリストに達することができるためなのです。 エペソ 4：15

最近の世論調査によると、政府とメディアへの信頼度は史上最低となっています。この2つの機関は人々に嘘をついてきたと感じているのがその理由の一つです。一度だまされた経験をする、信頼できる確率はかなり低くなります。

詩篇120篇の作者は、今日の私たちと同じように感じていました。彼の周りの嘘つき者たちから逃れたいと願っていました。あたかも北のメシェクや南のケダルの不信心者たちの中に住んでいるように。イスラエルの人々は真実の神を知る民として知られているはずでした。しかし、悲しいことに、そうではありませんでした。詩篇の作者は嘘と戦争を関連付けています。嘘は今でも戦争の原因になり得ます。

欺瞞ぎまんの世の中で、主に信頼する私たちはどのように反応すべきでしょうか。同様に反応しようという思いが湧いてくるかもしれません。「嘘つき相手に馬鹿正直になる必要はない」と声を荒げますか。嘘をついたり、人を憎んだりすることなく、神様の真実と愛をもって反応すべきです。

私たちが愛する人に向かって真実を語りましょう。私たちはすべての人を愛するように召されています。嘘つきの人も含めてです。愛する真実を語ることによって平和は訪れるのです。

讃美歌第二編 191 主のまことはくしきかな

祈 り アバ、父よ。あなたこそが真実です！いつも真実であれるように導いてください。あなたは愛です！あなたの愛を見せられるように私たちを動かしてください。私たちの愛する救い主のお名前によって。アーメン。

コロラド州 リトルトン / ティム・ケリー

4月4日（金）

母 の 前 に い る よ う に

聖書朗読 詩篇 131篇

まことに、私は、自分で悟りえないことを告げました。自分でも知りえない不思議を。 ヨブ記 42：3

詩篇131篇を読むと、母親が子をあやしながら神に信頼して祈る姿が目には浮かびます。それは、詩人の神様への全幅の信頼と謙遜を表現しているのがわかります。幼子が母親のところに何度も何度も戻っては、食べ物を求め、安心して平穏を保つように、詩人も十分に生きるために安全で人には到底理解することのできない神の神秘に戻って行きます。

詩人は、神様のシンプルさと詩人にとって“不可能に見えるようなこと”（神に不可能なことはありませんが）、『及びもつかない大きなこと』や『奇しいこと』の複雑さを理解しようとしています。詩人は慎重に静かに瞑想します。

ヨブのように、詩人は、この世には理解不可能な事があると告げます。神様と神様の創造に対する私たちの理解には限界があります。しかし、私たちは、神様が私たちには理解できない大いなるものであるゆえに、子どものように神様を信じ、静かに信頼することができるのです。

讃美歌 510 まぼろしの影を追いて

祈 り 父よ。『すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。』（エペソ 3:18～19）イエス様のお名前によって。アーメン。



ミシガン州 ローチェスター / クレグ & パッティ・ボウマン

4月5日（土）

神は全てを正される

聖書朗読 詩篇 140篇

主よ 悪者の願いをかなえさせないでください。そのたくらみを遂げさせないでください。彼らは高ぶっています。 詩篇 140：8

クリスチャンたちは人生の苦難に対しては、ある意味現実主義者です。しかし、私たちは永遠に対しては全き信仰を持っています。ある人がこう書きました。「十字架は、人生は公平であるはずという誰もが信じていたものを無効にする。」悪人が裕福で成功者である時があります。不道徳がはびこり、義が軽んじられます。神のいない、世俗的な、人間主義的な視点から見た世界が支配しています。私たちは皆、腐敗やこの世的な市場や機能不全に陥っている家族らに対応しなければなりません。

私たちクリスチャンは劣勢だと感じているかもしれません。しかし、私たちは不正や歪曲や偏見や迫害を耐え忍ぶことができます。物語がどういう終わり方をするかを知っているからです。私たちは永遠を見る視点を持っています。この世で私たちは旅人で、定住者ではありません。イエス様は平和をくださいました。ヨハネの福音書 16：33にはこう書いてあります。『あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。』

私たちはキリストによってより良いものに形作られます。そのために痛みが伴います。決して変わらないのは、神様が全てのものを正してくださるという世界観だけです。『まことに、正しい者はあなたの御名に感謝し、直ぐな人はあなたの御前に住むでしょう。』私は神様を信頼し、申し上げます。『主よ。私の願いの声を聞いてください。』

聖歌 347 いかにおそるべき

祈り 悪い世界に取り込まれている人たちの救いを祈ります。イエス・キリストにあるあなたの恵みを見て、理解し、受け入れることができますように。あなたの民が一つとなって福音の物語を分かち合うことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ボブ・マイズ

4月6日（日）

ほえたける獅子に気をつけろ

聖書朗読 箴言 24：15～22

身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。

ペテロ I 5：8

2匹のガゼル*が砂漠で戦う物語があります。（*編注：砂漠に生息するウシ科の草食動物）2匹はお互いのことに集中していて、彼らを襲おうと待ち構えているライオンがそばにいたのが目に入っていません。それは、敵の存在に注意せよというペテロ I 5：8を思い出させます。対立などに気を取られていると、私たちは弱くなってしまいます。

イエス様はこう命じられました。『互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。』（ヨハネ 13:34）愛が人間関係の土台であるべきです。特にキリストのからだである、クリスチャン同士の場合は。私たちは憎み合うためではなく、お互いを高め合うように造られました。神様はご自身に似せて私たちを造られ、和を持って生きるように命じておられます。エペソ 4:2～3ではこう教えています。『謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに忍び合い、平和のきずなで結ばれて、御霊の一致を熱心に保ちなさい。』

神様にある人々はいつも一致と愛に焦点を当てなければなりません。個人的な対立に気を取られていて、攻撃された時に弱い状態であってはいけません。お互いに愛し合うことに焦点を当て、キリストにある一致を保っていれば、この世の悪に立ち向かうことができるようになるのです。



讃美歌第二編 27 立て、つわもの

祈り 親愛なる主よ。偉大な力を持つ方の子どもとして、一致して立つことができますように。ほえたける獅子のような悪魔に、どの角度からでも防御できるように私たちを大いに強めてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

フロリダ州 ジャクソンビル / プルデンスC・ウイリアムズ